

# 食物アレルギー緊急時対応マニュアル

異変に気がいたら子供から目を離さない

迷ったらエピペン<sup>®</sup>を打つ！

助けを呼び、人を集める

ただちに119番通報

下の症状から重症度を判定し、速やかに行動する

全身の  
症状

- ぐったり
- 意識もうろう
- 尿や便を漏らす
- 脈が触れにくいまたは不規則
- 唇や爪が青白い

呼吸器  
の症状

- のどや胸が締め付けられる
- 声がかすれる
- 犬が吠えるような咳
- 息がしにくい
- 持続する強い咳き込み
- ゼーゼーする呼吸
- 数回の軽い咳



©埼玉県

消化器  
の症状

- 持続する強い(がまんできない)お腹の痛み
- 繰り返し吐き続ける
- 中等度のお腹の痛み
- 1～2回のおう吐
- 1～2回の下痢
- 軽いお腹の痛み(がまんできる)
- 吐き気

目・口・  
鼻・顔面  
の症状

- 顔全体の腫れ
- まぶたの腫れ
- 目のかゆみ、充血
- 口の中の違和感、唇の腫れ
- くしゃみ、鼻水、鼻づまり

皮膚の  
症状

- 強いかゆみ
- 全身に広がるじんま疹
- 全身が真っ赤
- 軽度のかゆみ
- 数個のじんま疹
- 部分的な赤み

上記の症状が  
1つでもあてはまる場合

1つでもあてはまる場合

1つでもあてはまる場合

- ①エピペン<sup>®</sup>を使用
- ②救急車を要請(119番通報)  
→保護者に連絡
- ③その場で安静を保つ  
→歩かせない
- ④その場で救急隊を待つ
- ⑤可能なら内服薬を飲ませる
- ⑥仰向けにして足を上げる

## 緊急

- ①内服薬を飲ませ、  
エピペン<sup>®</sup>を準備
- ②速やかに医療機関を受診  
(救急車の要請も考慮)
- ③急速に進行する場合  
→「緊急」の対応
- ④座位にして会話をしながら  
観察すると、急変に対する  
判断・対応がしやすい

## 受診

- ①内服薬を飲ませる
- ②「急速に進行する」又は  
「悪化が予想される」場合  
→「受診」「緊急」の対応
- ③少なくとも1時間は観察  
完全によくなくなるまで目を  
離さない

## 注意